

マス商事

大金 裕和 常務



大金 常務

「2024年は厳しい状況が続いた。中国市場の急減速の影響は大きく、EV（電気自動車）関連で日系の車載が苦戦している。その影響が当社のお客さまにも直結していたケースが多かった」と振り返る。

再び立ち上がっている印象がある。EMSく、一定の投資は進む（電子機器製造受託サービス）企業やメーカーの進出も活発」と説明する。市場の成長を見据え、インドの拠点ではマネジメント層をはじめ、組織体制を強化した。

度の開催を検討する。大金常務は「今までの1拠点での大量生産から、日本を含め、インド、タイ、フィリピンなど各国へ生産シフトし、特定の地域に一気に工場がシフトするのではなく、少しずつ分散されていくのでは」と予測。自社の拠点網を生かして動向を捕捉し、ビジネスにつなげていく。

マス商事は、ヤマハインドに拠点を構え、発動機（ロボティクス事業部）代理店として実装機を中心にSMT（表面実装）に関する装置を幅広く扱う。海外は中国（蘇州、深圳）、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム（ハノイ、ホーチミン）、メキシコ、

半導体関連設備の販売本格化

市況はインド、インドネシアは二輪がけん引。24年の販売台数は過去最高に近いレベルに達した。ベトナムは二輪・四輪が中心で、パソコン周辺機で想定を上回る約750人が来場し、盛況だった。今後は数年に一度の開催を検討する。大金常務は「今までの1拠点での大量生産から、日本を含め、インド、タイ、フィリピンなど各国へ生産シフトし、特定の地域に一気に工場がシフトするのではなく、少しずつ分散されていくのでは」と予測。自社の拠点網を生かして動向を捕捉し、ビジネスにつなげていく。

MASS SMT/半導体関連設備から産業用ロボットまで、生産現場に最適なトータルシステムをご提案



テクニカルセンター



展示会のご案内
 第39回インターネブコンジャパン エレクトロニクス製造・実装展
 会期：2025年1月22日(水)~24日(金) 10:00-17:00
 会場：東京ビッグサイト(東ホール)

ヤマハ発動機株式会社
 ブースNo.東2ホール E10-52
 ご来場をお待ちしております

株式会社 マス商事 <https://www.mass.co.jp>
 【本社】神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-17-701 TEL:045-478-6151
 【テクニカルセンター】神奈川県横浜市港北区新横浜3-13-12 TEL:045-478-6152
 【横浜支店】横浜市 TEL:045-478-6152
 【西日本支店】大阪市 TEL:06-7166-5511
 【東日本支店】さいたま市 TEL:048-677-6580

【海外11拠点】シンガポール・マレーシア・インドネシア・タイ
 フィリピン・ベトナム・中国・メキシコ・インド